

小学校3年生 図画工作の学習

「絵のぐ+水+ふで=いいかんじ 母島の春をあらわそう！（4月）」

水彩絵の具の使い方を復習しながら、「母島」の春を感じる形や色を好きな大きさ、質感の紙を選んで描きました。絵の具の混ぜ方、水の量を調整しながら、紙の性質に合わせて、工夫して描くことの大切さを感じることができたようです。



「カラフルフレンズ 新しいともだちをつくろう！（4・5月）」



わた、落ち葉、ビーズ、タイル、ボタン、カラーサンド、シール、カラーセロハンなどの材料から発想を広げて、クラスの新しい友達をつくりました。袋の色や大きさに合わせて入れるものを工夫することがで



きました。また、生まれたカラフルフレンズを

教室や中庭に並べてデジタルカメラで撮影をしました。



「くるくるランド まわるしくみを使って（5月）」

割りピンの仕組みを理解してから、いくつかの場面が現れる「くるくるランド」をつくりました。土台の形や大きさ、数を決めたり、たくさんの紙の種類から選んだりして、思い付いたものを形にしていくなかで楽しさを感じ、味的に味わうことができました。つくる途中で、みんなの作品を鑑賞したり、遊んだりして、色や材料の組み合わせをより工夫したりしていました。



「わたしの6月の絵（6月）」

6月の母島の様子や感じたことを絵にしました。海と山に囲まれた母島の中で感じる音、におい、湿気などをみんなで整理しながら、イメージを広げ、形や色にしていきました。今回は、小笠原にちなんだ絵の具「OGASAWARA 50 COLORS」を使いました。絵の具のチューブに書かれた色の名前にも着目して色を選びました。



「くぎうちトントン（7月）」

金づちを使って木材にくぎを打ち、オリジナルキャラクターを生み出しました。それをもとにコマドリアニメーションをみんなで作り、副校長先生や担任の先生を前にして、即興でナレーションを付けて発表もしました。

